

がっこうほけんいいんかい かいさい 【学校保健委員会が開催されました！】

がつ 10月17日（木）に、学校保健委員会が行われました。

がっこうじびかい かねことおるせんせい かねこじびいんこうか
学校耳鼻科医の金子達先生（金子耳鼻咽喉科クリニック）をはじめPTA役員の方々に御出席
いただきました。今年度は初めての試みとして、児童生徒会保健委員会の発表を行いました。各学
校の先生方から、健康に関する貴重なお話をいただきましたので、今後の児童生徒の健康活動に
御活用いただければと思います。



保健委員会発表

今年度は児童生徒会保健委員会から、高等部保健委員会代表5名が発表をしました。

5月の委員会で活動内容、目標設定を行い、それぞれが決めた目標に向けて頑張っていること
の発表から始まり、保健委員会の主な活動は、健康観察簿の回収・石鹸、トイレトペーパーの
補充・保健目標のポスター作製と掲示・水質検査・手洗いの練習など、児童生徒が安全に過ごせる
ように協力して活動している様子を知ることができました。

また、保健委員会になって気を付けるようになったこととして、「風邪をひかないように念入り
に手洗いうがいをし、意識して感染症対策をするようになった」「石鹸の補充を自ら確認して
補充に行くようになった」「保健目標を意識して過ごすようになった」など、保健委員の自覚を
もち積極的に活動に参加していることがわかりました。

今後やってみたいこととして、『歯垢染色剤を使用するの
歯磨きの練習』『身体測定や体重測定の手伝い』を挙げてい
ました。保健委員会の活動の幅を広げる意欲を感じる、素晴
らしい発表でした。

今後も、保健委員会を中心に校内の保健活動を盛り上げて
いただきたいと思います。



がっこうないかい 学校内科医から

当日は御欠席でしたが、書面で回答してくださいました。

●今年度の内科検診の結果から注意した方がよい疾患や病気について

今まで通りでよいかと思えます。新型コロナウイルスやインフルエンザウイルスについては
は冬場になりますので、引き続き注意していただければと思います。



●今年度の耳鼻科検診について

- ・アレルギー性鼻炎が減っている、耳垢や鼻炎はほとんど一緒でありました。
- ・季節のピークに検診をしているので結果が変わるので毎年一致はしていません。

●耳鼻咽喉科頭頸部外科について

○低音障害性感音難聴

耳が詰まった感じで、低い音の難聴です。近年急激に増加傾向にあることが指摘されており、コロナ禍で急激に増加している。ストレス等による内耳浮腫が原因と考えて、主に漢方治療で回復するが、再発も多く進行するとメニエール病になったりめまいを生じることもあります。

○イヤホン・ヘッドホン難聴

イヤホン、ヘッドホン難聴が問題となっております。音楽プレイヤーやスマートフォンを危険な音量（長時間に大音量で）で使用することで若者を中心に難聴のリスクにさらされています。失われた聴力を完全に回復させることはほぼ不可能で、難聴にならない悪化させないことが重要です。ノイズキャンセリング機能のついたヘッドホン、イヤホンなら周りの騒音を抑えてくれるので、より小さな音量で楽しむことができます。全体の60%以下の音量にする事に加え60分以上聴かないよう注意しましょう。

○鼻出血

血を止めるため原則は、出血している場所を押さえて止める圧迫止血法です。座った姿勢で、のどに回った血は飲み込まず、外に出すようにします。顔はやや下向きにします。脱脂綿に軟膏塗布が有効です。30分鼻を押さえても止まらない、ふらふらする顔色が悪い出血の勢いが強い、顔面の外傷を伴うなどの場合は早めに耳鼻咽喉科、救急外来を受診してください。再発性も鼻疾患が原因であることも多く要受診です。

○感染症

インフルエンザについては今のところ出ているはいない。新型コロナウイルスは減ってきており熱よりも咽頭痛が多いです。手足口病は初夏の疾患だが増えています。

○マイコプラズマ感染症

患者の約80%は14歳以下ですが、成人の報告も見られます。マイコプラズマ肺炎は1年を通じで見られ、秋冬に増加する傾向があります。全身の倦怠感、頭痛、せきなどの症状がみられ、せき（乾性咳嗽、痰が少ない）は熱が下がったあとも長期にわたって続くのが特徴です。

学校耳鼻科医さんへ質問

質問 「 鼻出血に脱脂綿に軟膏を塗ると効果的とありましたがワセリンでも良いでしょうか？ 」

回答 「 ワセリンでも問題ないです。クリームは界面活性剤があり刺激になってしまうため軟膏の方が良いです。脱脂綿の周りに全体的に塗り、座った状態で処置すると良いでしょう。 」



学校眼科医から

当日は御欠席でしたが、書面で回答していただきました。

●今年度の検診結果について

令和6年度の眼科検診では、斜位と斜視が合計36名いました。

斜視は左右の目の視線が合わなくなってしまう状態、斜位は斜視の予備群です。普段の生活では、本やデジタル機器を寝転がったまま見たり、物を見るときに近づけすぎたりしないよう注意してください。斜視や斜位を指摘された人は眼科を受診して、治療が必要な状態かの診断を受けてください。

アレルギー性結膜炎、慢性結膜炎、眼瞼皮膚炎は合計20名いました。

アレルギー性結膜炎を発症している人はアレルギー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎を合併している人が多いです。

慢性結膜炎はアレルギーや紫外線など様々な原因が考えられます。

眼瞼皮膚炎はアレルギー性皮膚炎や乾燥性皮膚炎等の原因があげられます。

これらの指摘を受けた人は眼科を受診して治療方針を相談しましょう。

一般社会でのコロナ禍が一段落して、手指消毒や手洗い、うがいが疎かになる結果様々な感染症に罹りやすくなり、細菌性結膜炎や麦粒腫などの感染症にも罹りやすくなります。

アルコール消毒や石鹸での手洗いをするほか、普段から不必要に目を触ったり、擦ったりしないよう心掛けてください。

目ヤニや充血、瞼や目の痛みを感じる時は周囲に感染症を広めないためにも早めに眼科受診をしてください。



学校歯科医から

当日は御欠席でしたが、書面で回答していただきました。

●今年度の歯科検診結果について

有所見者の特徴としましては、二極化しているという印象です。

多数歯う蝕（重度のう蝕）のある児童生徒と、う蝕なしの児童生徒もしくは、少数歯う蝕（軽度のう蝕）のある児童生徒のう蝕進行度の差がはっきりわかりました。

前者に関しては家庭環境を含めて多くの要因があると思われるので、今後のケアやフォローが必要と思われます。

後者についてはコロナ禍において学校での歯磨き中止により、家庭での歯磨き習慣及び予防意識の希薄化が影響しているのではと考えます。

●今後気を付けた方がよい口腔疾患について

身体障がい者、知的障がい者においての歯列不正、咬合不正の発生頻度は高いとされており、それに伴う歯周組織炎やう蝕の罹患率も高いと思われます。現時点で「歯列不正」等の所見がある者に関しては中・長期的に経過観察を行う必要があると思います。



学校薬剤師から

当日は御欠席でしたが、書面で回答していただきました。

●環境衛生検査について

児童生徒及び教職員の健康を保持するうえで維持されることが望ましい基準が環境衛生検査基準です。学校保健安全法に『学校環境衛生検査基準』として規定されており、施行規則には検査項目等が示されています。この基準に従って行われた検査結果に対して学校薬剤師が指導助言を行っています。

※その他、学校薬剤師は学校給食法に基づいて、給食室を年3回検査しています。

●定期検査項目と結果

飲料水	異常なし
換気・保温	換気の強化
照度・まぶしさ	測定教室は基準値内だった まぶしさは認められなかった 北側校舎、1階廊下側は暗い 将来的には蛍光灯からLEDに変更することが好ましいと考える
プール水	本校は対象外
その他	その他の検査項目で基準値を超えるものはありませんでした



しつぎおとう 質疑応答

今年度、PTA役員の皆様へ学校保健関係について、質問を4件いただき、学校医の先生方より回答をいただきました。

【質問1】 障害をもつ子の歯磨き、歯科治療についてお聞きしたい

●学校歯科医より回答

「基本的に定型発達児の考え方に準じると思います。低学年であれば本人が磨いた後に保護者による『仕上げ磨き』の励行。自主性、自我が確立される高学年以降は本人に加え保護者による『磨き残しチェック』が推奨されます。

ただし、個々の適応能力や協力度、保護者の負担等を鑑みるとその限りではなく、できればかかりつけの歯科医、歯科衛生士に相談されて、対象の児童生徒および保護者に適した歯磨き習慣、方法を習得していただきたいと思います。」

●学校歯科医（とちぎ歯の健康センター、歯科衛生士）より回答

「歯科治療につきましても、定型発達児に比べて場所や人、物事への適応能力や理解度を考えると、治療への非協力が懸念されます。よって、治療ありきではなく治療しないための予防的通院を理解していただきたいと思います。」

【質問2】 質問1について保護者が参加できる学習会等がありますか？

●学校歯科医（とちぎ歯の健康センター、歯科衛生士）より回答

「特別支援学校へ『永久歯等対策事業』という県からの委託事業のなかで個別指導として実施しております。対象者については小学1年生とその保護者となっているため、参加されていれば歯磨き等の学習は習得できるのではと考えます。ただ、対象が小学1年生限定の年一回のみのため、保護者に予防の大切さが定着しないことや学年が上がるにつれて仕上げ磨きがやりづらいなどの問題点がございます。」

※本校では、永久歯等対策事業でとちぎ歯の健康センターの歯科衛生士さんをお招きして小学部1年生の児童と保護者を対象に毎年、年に1回校内で実施しています。

【質問3】 第二性徴について、自慰行為の適切な対処についてお聞きしたい

●学校精神科医より回答

「見守っていただけるとよいでしょう。公共の場で陰部に手をやってしまうこともよくありますが、怒ってしまうと劣等感を持ってしまうので、別のことに注意を向けられるとよいと思われます。運動で昇華するのも効果的です。」

参考書籍「知的障害をもつ子どもの性教育・性の悩みQ & A」

【質問4】 思春期について心と体の変化や関わり方等についてお聞きしたい

●学校精神科医より回答

「思春期は心も体も激動の時期なので、保護者の関わりとしてはまずは本人の悩みに気づいて、見守るというスタンスで安定すると思われます。」